

晃陽中学校地域協議会（サポート会）

校内研究授業の間の教室見守りボランティア

- 校内研究授業の実施により、全てのクラスで先生が不在となり自主学習となる時間に、生徒達が落ち着いて自主学習できるよう、地域協議会委員や保護者などの地域の大人による教室見守りボランティアが行われました。
- ボランティア活動の参加者は、地域協議会がボランティア活動用に作成した共通デザインのポロシャツを着用して活動します。
- 当日は、5校時の校内研究授業に先駆け、ボランティア参加者がランチルームへ集まり、教科担任の先生から生徒達に自習させるプリントの内容やプリントが終わった生徒への対応などの説明を受けました。
- 5校時が始まると、研究授業が行われるクラス以外の全7クラスに、ボランティアが移動し、各クラスの生徒達の自主学習を見守りました。
- 本来、この日の5校時の授業を担当する先生方をはじめ、全ての学校教員が校内研究授業に専念できる環境を作ることで、学校教育の充実に繋がる取組みとなりました。



教科担任とボランティアが打ち合せ



地域協議会で作成したポロシャツ



校内研究授業の様子



地域協議会会長も参加



地域の大人による教室見守り

【学校の声】

この教室見守りボランティアは、学校から地域協議会に依頼して始めていただいた活動です。校内研究授業の時間は、地域の方の協力が無ければ、教科担任の先生は、自分のクラスと研究授業の教室を行き来して生徒達の面倒を見なければならないため、研究授業に集中できません。サポート会の皆さんをはじめ地域の方の協力のお陰で学校の教育活動が充実しています。

また、ボランティアとして協力して下さる方が多くが本校の卒業生であり、母校愛があり嬉しく思います。

【地域協議会の声】

サポート会は学校を支援するための組織であるため、学校がサポート会に要望を伝えやすい環境を作ることが大切です。そのため、地域コーディネーターは頻繁に学校に出入りし、学校とコミュニケーションを取っています。

この教室見守りボランティアでは、全ての先生が校内研究授業に専念することができるよう全てのクラスにボランティアを配置するため地域人材の調整をしています。地域の方で、先生方が研究授業に専念できる環境を作り、授業力向上に繋がることで学校教育の充実が図られれば幸いです。

【いいね！】

- 地域協議会委員を含む地域の大人がボランティアとして学校に入り、生徒の学習の様子を知ることで、学校マネジメントシステムの充実にも繋がっている。
- 保護者もボランティアに参加しており、子ども達の学校での様子を見ることができ、自分の子どもとの家庭での会話にも繋がり、親子のコミュニケーションが充実している。

